



豊かで 住みよい 町づくり

議会だより

VoL.

36

12月定例会

2010. 2. 1 発行

上 勝

主な内容

- 臨 時 議 会 ————— 2
- 12月定例会 ————— 2 ▶ 3
- 一 般 質 問 ————— 4 ▶ 10
- 議長新旧あいさつ — 11
- 委 員 会 ————— 12
- 研 修 報 告 ————— 13 ▶ 15
- 写真で紹介
- まちのようす・編集後記 — 16



平成21年度 一般会計補正予算 (補正第4・5号)

補正額 **1億4,846万7千円**を追加し

総額 **35億8,382万7千円**とした

平成21年度 特別会計補正予算 (補正第2号) (介護保険特別会計)

補正額 介護予防事業で **2,000万円**を減額し
包括的支援事業
任意事業費 で **2,000万円**を増額した

特別会計総額 **10億8,315万6千円**とした

請願・人事

- 米価の回復と価格の安定、ミニマム・アクセス米の輸入中止を求める請願は産業建設常任委員会の報告の通り採択した。
- EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する請願ほか5件は不採択とした。
- 議長・副議長選挙、常任委員選任、議会運営委員選任、議会広報調査特別委員選任、小松島市外3町村衛生組合議員選挙を行なった。

補正の主なもの

- 林道舗装事業 (折山線・柳谷線)
6,100万円
- 町道改良事業 (六十部線)
3,591万1千円
- 情報通信端末システム機器等
3,596万円

第8回 定例会

開会	閉会	会期
平成21年12月21日	平成21年12月10日	12日

第7回 臨時会

開会	閉会	会期
平成21年11月25日		1日



六十部線改良予定地



大字傍示
峯下 徹

上勝町固定資産評価
審査委員会委員の選
任に同意した
(敬称略)

● 任期
平成22年1月1日より
平成24年12月31日まで

条例改正
会議議員、常勤特別職、教育長、職員の給与、報酬手当等の減額を可決した。

財産取得
平間町営住宅の取得を可決した。



片山文昭 議員

建設業者の公共事業からの脱却は進んでいるか

問 町長 平成20年度・21年度の経済雇用対策等で大型補正予算の中、出来る限り公共事業を取り入れた。町道整備、林道事業併せて3億4,100万円、地域活性化・生活対策臨時交付金事業等でも少額確保した。

問 建設業界を取り巻く環境は、政権交代を受け一段と悪くなりそうだが、町内建設業者が生き残っていくため、最低限の公共事業等を実施すべきでないか。また、平成20年6月以降建設業者にどの様に指導されたのか。

入札の度に将来性について説明した。また、異業種との連携・簡易作業道開設事業によるバックホーを使った現地講習会等実施した。副業や他産業への進出など調査研究する場合費用の一部を助成する。

地震・台風等の災害時における人命救助・生活道の確保は

問 南海地震及び東南海地震が近年に起こる確率が高くなっている。町内では公共事業の減少等により、業者は重機の維持管理が出来なくなり減少したのではないのか。

今大災害に見舞われた時、建設業者は協力してくれるのか。町は、重機所有者と災害時に協力して貰えるような話し合いをしているか。少しでも多くの大型重機を確保するため、維持管理費用の一部を助成してはどうか。

答 町長 機械の維持管理費助成等は今後事例等調査し検討したい。

答 建設課長

建設業者も、事業量の減少、高齢化等により従業員数、また、重機数もかなり減らしている。緊急時の対応は厳しい。建設業者等の重機所有者との協定書は出来ていない。



放置されたサダチ園

JA東とくしま上勝支所に建設した搾汁施設の稼働状況と実績は

問 搾汁施設は、本年度から搾汁を始めているが、全員協議会で町内で生産される全量処理出来ないと説明があったが、サダチは前年実績の70%しか荷受け出来ない。また、新規出荷者の荷止め、ユズについては荷受けの一時制限等について、町はどのような処置を執ったのか。また、町

答 産業課長

サダチの荷受量は、上勝支所が前年対比62・3%、勝浦・小松島等町外が前年対比約40%の荷受け実績と成っている。町内生産量は、全量受け取って貰えるよう要望等していく。

答 町長 ユズ、ゆいては全量受け入れすると聞いている。サダチ・ユズの新規出荷者の荷受け止めについても、JAで検討頂けるよう申し出をする。

が経営に口出しは出来ないが、搾汁施設には多額の補助金を出しているのだから町内の生産者を優先に考えて貰うような話し合いは出来るのではないのか。

一般質問

町政を問う

12月定例会の一般質問には7人が質問しました。



明本恵一 議員

住みよい町に！

子育て支援急げ

問 中学卒業まで医療費を無料化するべきだ。佐那河内神山は既に実施中。年間経費はいくらか。

答 住民課長 早急には出来ないが、重要な子育て施策だ。今後十分検討する。中学の医療費無料化は年間約37万円。

県立図書館の遠隔地での利用は

問 図書館のない当町でも、県立図書館の蔵書検索予約・貸出・返却など出来るようにしてもらいたい。

答 教育長 可能になる。個人宅で検索できない人は、教育委員会の端末機で出来る。図書館のない町村は、教育委員会経由で貸出返却できるようにする。

危険な溪流、裏山崩壊個所の改修急げ

問 急ぎ改修しなければ、住民の生命財産が守れない。個所がある。予算を重点配分すべきだ。小泉行事で急傾斜地の住民負担率が上がったのも一因だ。もとに戻せ。

答 建設課長 本町の財政から見て厳しい。県に要望する。急傾斜地の個人負担は45%だが軽減する考えは持っていない。(以前は10%だった)

問 榎原谷改修は手直しなどムダな工事をしていないか。

答 建設課長 風化防止の仮設をしただけで手直しはない。

地デジ対応について

問 清水山(上勝町)は地デジ放送が始まった。樋口山(正木町)はいつになるか。

答 総務課長 正木町は見直された計画はない。

問 地デジの受信補助はどうなるか。

答 総務課長 生活保護など公的扶助を受けている世帯、市町村民税非課税の世帯などで、NHK受信料が全額免除となっている世帯はアンテナ、チューナーなどが補助される。

問 光ファイバー新規加入費が高騰している。値上げの理由はない、問題だ。

答 総務課長 工事費57,750円、光電変換装置45,465円、電話機4,830円、STB(兼ビジョン)5,470円、VoiP15,540円、合計120,540円に値上がりし、工事費含めると178,290円にあがった。

問 業者の言いなりだ。ところで、液晶テレビを購入した世帯で画面がフリーズするなど不具合が生じている。取り付けに来た業者は「液晶ビジョンがダメ」と言っている。

答 総務課長 フリーズするのは液晶の故障でその都度取り替えている。ケーブルテレビの多チャンネル有料放送に対応出来ていない。調査中だ。

問 楽ビジョンは地デジにもインターネットにも使えない。「要らない、町に返したい」という人もある。この場合加入は脱退となり送信を止めるのか。

答 総務課長 現状のまま使用をお願いしたい。

答 町長 今年度中に方向性を明確にした。

町営住宅新設について

問 老人ホーム跡の改造住宅は、どのような入居者を予定しているか。また、家賃等について説明を求める。

答 建設課長 平間公営住宅は、入居は町条例に定める者、家賃は、所得により計算される。(注1)

問 老人ホーム跡のリフォーム費用は33平方メートル当たり50万円だった。旧建物を1万円で売り8千万円で買い取った。不適切である。ムダ使いをしていないか。

答 産業課長 今回の改造は46万6千円であった。落合複合住宅改造費は坪49万5千円と比較すれば安くムダはない。また、町内の民間新築住宅は

答 町長 町単工事であり、諸経費率を落としたので業者に厳しい。予定価格を公表しないと何回しても落札しない。

答 建設課長 町内11社が入札に参加した。各社の入札金額は(表1の通り)

問 県の工事とは、殆ど差し障りない。非常にずさんな工程管理がやられている。予定価格の明示は談合をよぶ。予定価格の93%以上は談合が疑われる。今回は98・98%だ。

答 建設課長 造成中の川川工事している。重機・資材の搬入などで宅地工事の方が遅れた。工期は12月21日のところ2月中旬まで延びる。現在進捗率75%だ。県の河川工事は65%と聞いている。

問 旭の住宅新設、土地造成工事かストップしている。遅延している理由は何か。

平成19年例で、44万1千円であった。

表1 入札状況
(予定価格 17,680千円 明示)

社名	入札額(千円)	落札率
A	17,500	98.98
B	17,530	
C	17,580	
D	17,600	
E	17,600	
F	17,610	
G	17,600	
H	17,630	
I	17,630	
J	17,650	
K	17,650	

注1 公営住宅入居者は、町内に住み、住宅に困窮する人(1ターナー者、危険地帯に住む人、公共事業で立退く人)



渡部厚子 議員

問

町の補助金のお陰で用材は順調に集まっているようだ。来年度も続けてもらえるか。

答 町長

本年4月からキロ2円補助をしている。来年度も継続したいと考えている。

温泉ボイラーの煙をどうする

問

温泉のボイラーはチップの含水率が高いので煙が出ている。解決策は出たか。また、チップふるい機は予算計上してあったが、その通り購入するのか。

答 産業課長

チップ製造時の、火災予防及び防じん対策用の散水機を止めてもらっている。また、外にあるチップには雨よけシートをかけてもらった。今後も強く指導を徹底してゆく。チップ機は導入するとコストが上昇する。また機器用のストックヤードも必要となるので、まだ検討中。今年度購入は難しい。

問

散水機能が元々ついているのを使わないのはかえって問題が出ないか。ボイラー自体もカットしたチップ用なのを、クラッシュのチップを使っていることで支障が出ている。不自然なことをして無理が出ている。また、絶乾の木を持つてきてほしいと言いがら乾いた木だと機械が悪くなってしまうのは矛盾がある。

答 産業課長

機械についてはいろいろ見てきたが、費用対効果を考え、温泉もくさん、私と連携を密にして改善に努めてゆきたい。



煙たなびく月ヶ谷温泉

問

商品券の流れはどうかだったか。

答 産業課長

一人当たり5万円が限度で、79世帯183名が購入、協賛加入事業所72店のうち、既に換金されているのは26事業所。960万円発行、うち718万円が換金された。

A店が181万円、B店130万円、C店88万円、D店及びE店が38万円、あとは殆どが30万円以下だった。

プレミアム商品券の公平性は

また、一度店へ金落ちたら終わりで、効果があまりない。

答 産業課長

これは商工会が、昨年の商店街の非常な景気の落ち込みを危惧して行なった苦心の策だ。とりえず一時的ではあるが、成果を商工会はつかんでいると思う。これを踏まえて効果を高める方法を議論してゆきたいと思う。

その他

「おふくろ先生診療日記」の町の費用対効果、国の交付金事業、集落再生プロジェクトの進展ぐあいについても質問した。

問 全体の10分の1の世帯が商品券を使ったことになるが、もっと広く行き渡る方法をとった方が、全町民のためになる。事業所の方にも広く行き渡っていない。

来年度もチップ用材はキロ5円

新型インフルエンザは
どうなっているか

問

新型インフルエンザの現況と今後の取組は。

答 教育長

幼稚園が11月2日・3日休園、小学校5・6年生が11月16日から23日まで、中学校1・2年生が12月1日から6日まで学級閉鎖、現在は欠席者もなく小康状態を保っている。

答 住民課長

一般住民については、小学生等の罹患された患者から家族が罹患した方が

学校では手洗い、マスクの着用等、子供や家庭への日常の指導等を徹底して今後も感染防止に努めていきたいと思っている。現時点では授業の支障は出ていない。

答 住民課長

生活保護者10世帯、それと市町村税非課税世帯389世帯、1歳から中学校3年生までの162名、高齢者でひとり暮らしで非課税の人は助成。

問

ワクチンの全額負担をしては。

鳥獣害防止柵の申請状況は



樫原地区鳥獣害防止柵

問

鳥獣害防止柵の申請状況は。

答 産業課長

今年度7件。来年度については6件あった。国への申請のために12月18日締切りである。ただ国の事業仕分けに入っているの、補助は不確定だが、町の方で90%補助する。



森林基幹道生実八重地線（生実工区）

ほかにJAの加工施設について質問した。



多田和幸 議員

町営住宅の建設は

問 旭地区に予定している7戸の木造住宅を、町内の業者で建築できるように、分離発注に配慮してはどうか。

答 建設課長

共通仮設費が高騰になり割高になる。現場管理が複雑になり、一括発注を考えている。

問 町内業者へ随意契約できないか。

答 建設課長

自治法に沿うか検討する。

答 町長 多方面より検討し意向に沿うよう努力する。

県道の有効利用を 考えては

問 県道正木工区の改良により現道が不用品になる。有効に利用する考えは。

答 建設課長

残土処分場、民有地等があり、道路機能を残し管理する。

問 道路巾を残して広い所を利用しては。アイデアを募集しては。

答 建設課長

有効活用について検討する。

商工会活性化策

問 プレミアム付き商品券の発行に22年度以降も支援してはどうか。

答 産業課長

商工会より要望があれば検討する。

地上デジタルは

問 放送エリア外はどのように受信するか。

答 総務課長

光ケーブルを利用して受信してもらうのが一番安い。

鳥獣害対策



ニホンカモシカ

問 ニホンカモシカの被害が多いと思われる。調査して対策すべき。

答 産業課長

昭和30年、国の指定を受けて特別天然記念物に指定され、個体調整はできない。生態、被害状況を

把握して、県と連携し対策協議会の意見を得、対策する。状況を知らせてほしい。



町政への提案

棚田サミット開催は

問 平成23年に本町で開催予定だがその対応は。

答 町長

第15回大会は11年・第17回大会は本町での開催が決定された。本町については会場等の関係で地元住民を入れて500名程度になる。受

け入れについて先般12月15日に実行委員会を設立した。2月に各種団体関係者に参画いただき、それぞれプログラムに合わせた運営委員会を設置し、3月には実施に向けて棚田のシンポジウムを開催し、住民の皆様方のご理解を得て、町ぐるみで、この大会の準備を進めていきたい。

観光客の呼び込みは

問 町内に数多くの見どころがあるが、今後整備等して新しく観光客を呼び込むことが必要でないか。

答 町長

数多くの見どころとかな新しい芸術作品もできており、それらを生かすことを進めていくべきと考えている。お客様に見どころスポットをわかりやすくする案内パンフレット等の整備と、現地での危険箇所がある場合に整備も必要と考えている。本年度、町内案内板の設置改修を実施し、案内パンフレットも検討している。

観光による地域振興を目指していきたい。

特に、棚田サミットに合わせて農家民泊を平成22年度は増やすように県も力を入れてくれる。現在2戸民泊があり、1戸が申請する話を聞いている。これが進み、40戸ぐらいできれば、修学旅行についても受け入れできる体制もとれるのではないかと期待している。

BCP (災害時の行政継続計画)は

問 本町で災害が発生した場合に本庁の対応は。

答 町長

即座に何人の職員が出てこれるか全く想定がつかない。町の条例でも自主的に出てくるようになってきている。役場に参集した職員が少なくても、出てきた職員によって災害対策本部を立ち上げ、情報の収集や、国・県に応援を要請していくことが最優先と考えている。



阪松明義 議員



第15回 棚田サミット (新潟県十日町市)



藤田 欣宏 議員

「仕事がなかったらあかんのや」 の講演会からのヒント

問 鈴木俊博氏が11月28日ムーンにて講演があり彩・第3セクターの経営についてもヒントをいただいた。実行する気持ちはお持ちか？

答 町長 鈴木先生には彩農業や町の活性化進行計画についても意見をいただいた。今回頂いた情報の中で取り入れられることは具体的に検討している。第3セクターの経営については現地を見ていただき具体的な提案を送っていただいており、経営改善計画を立てていく。

問 賃貸住宅の整備は、整いつつあるが、農地（農園）付きの住宅、三好市三野町の三好タウン愉流里（ゆるり）の様な（分譲・賃貸）を考える時期と思うが？

答 町長 集落再生と絡め後継者の確保を図るべく集落内で話し合っていた。空き家の利用、適当な場所を荒廃防止の意味で宅地、農地として幹旋が出来るような組織を立ち上げていただければと思っている。

問 55集落との部落座談会はあるか？

答 町長 集落再生の部落座談会をもっと早くと思っていたが、国・県の補正予算で昨年と比較し既に12億円確保したので、座談会は一步も進んでいないのが現状である。

定住政策の重要性

芸術文化祭

問 22年度事業で徳島県芸術文化祭を上勝町で開催するのにか？

答 教育長 上勝町の芸術文化祭が20回目を迎えておりそれを拡大し実施予定をしていて、文化協会を中心に実行委員会を立ち上げ具体案を作成予定で進めたい。

問 今まではどうであったのか？

答 教育長 正式名称は徳島県文化研修会の上勝町は、徳島市、小松島市、石井町、勝浦町、神山町とAゾーンに属しA・B・C・Dのゾーンのなかで上勝町だけが研修会を受けていなかった。今回で第25回目の大会になる。今までの研修会の日程は開会行事、研修会（開催市町村の取り組み発表と講演）その後アトラクションとなる。開会行事以外はすべて地元が取り仕切り、他市町村からの参加は人が参加するだけである。

問 町の行事とか視察者の案内があったが掲載をされて無いのは何故か？

答 産業課長 徳島大学音響研究会のホームページにリンクしていたが管理者の教授が大学を離れて管理者がいなくなったため、町のホームページから削除した。



第19回上勝町芸能祭

上勝カレンダー

議長就任あいさつ



上勝町議会議長
藤田 欣宏

平成22年の新春を迎え早一ヶ月が過ぎました。年初の計画どおり着々と日々をお過ごしのこととお喜び申し上げます。このたび12月定例議会において議員各位のご支援により議長の新任に就任させていただきましたことになりました。浅学非才はもとより議員経験も浅く又そんな器でないだけに責任の重大さをひしひしと感じております。

昨年、政権交代があり地方行政は五里霧中状態かも知れ

ません。そのなかで上勝町は行財政・公共工事削減・集落再生・鳥獣被害・3セク等問題が山積しています。町民皆様のご意見をもとに議員も執行機関も共通で幅広い正確な情報を持ち審議しなければと痛感しています。今後ともなお一層のご意見ご指導をお願い申し上げ、皆様のご健康、ご多幸をお祈りしご挨拶いたします。

議長退任あいさつ



前上勝町議会議長
西浦 光信

平成22年の新春をむかえ心よりお喜び申し上げます。平成20年1月議長就任以来みなさま方のあたたかいご理解をいただき乍ら大過なく議長職を全うすることが出来ました。ひとえにみなさま方からいただいた熱い思いとお知恵のたまものと、重ねてお礼申し上げます。

今後は一人の議会人として常に町民のみなさま方の声を代弁し、町の活性化に努めな

ければいけないと思っておりますので、今後ともお導き下さいますようお願い申し上げます。まもなく、お正月もそして節分も終り、春はもうそこまで来ております。ご自愛を祈りながらごあいさつと致します。

行政視察報告



東京事務所を訪問した日が、自民党から民主党に政権が替わり官主導から政治主導への転換期で、また、初めての予算配分が決定する日と重なり情報収集等に非常に忙しい中、研修をお受け下さり有り難う御座いました。

東京事務所が所管している地域

は、静岡県以北の1都1道15県で、首都圏・北海道・東北等の国土の約53%を占めている。

業務内容は多岐にわたっており、中央官公庁との連絡折衝情報収集等、また、物産の斡旋及び観光の紹介宣伝並びに農林畜水産物の販路拡大等と各地域で実施されるイベントの設営に係る業務であり、地域が広範囲のうえ、多様な地域を対象としている。それと、市場へ出向き市場動向や主要産地の生産物情勢を把握し関係団体への情報発信もしている。

官公庁との連絡調整だけかと思っていたので大変な業務量と内容だと驚いた。

東京事務所の職員のお陰でいろんな情報が敏速に伝わっている事に感謝し報告とします。(片山)

徳島県東京事務所

東京都千代田区

平成21年10月15日

上勝町議会委員会等構成

西浦議長の辞任に伴い、議長選挙で藤田議員が新議長になりました。藤田議長のもと、副議長選挙・常任委員・議会運営委員の選任も行ないました。

議長・副議長

議長 藤田 欣宏
副議長 片山 文昭

議会運営委員会

委員長 多田 和幸
副委員長 阪松 明義
委員 渡部 厚子

総務常任委員会

委員長 阪松 明義
副委員長 鹿島 國男
委員 多田 和幸
委員 西浦 光信

産業建設常任委員会

委員長 渡部 厚子
副委員長 片山 文昭
委員 明本 恵一
委員 藤田 欣宏

議会広報調査特別委員会

委員長 片山 文昭
副委員長 鹿島 國男
委員 西浦 光信
委員 阪松 明義
委員 渡部 厚子

市町村合併研究調査特別委員会

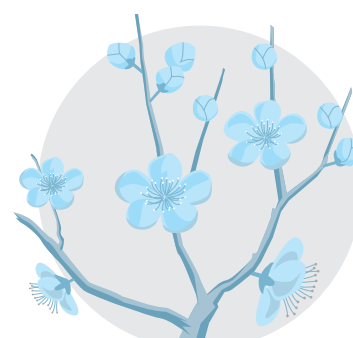
委員長 多田 和幸
副委員長 阪松 明義
委員 明本 恵一
委員 西浦 光信
委員 藤田 欣宏
委員 片山 文昭
委員 鹿島 國男
委員 渡部 厚子

小松島市外三町村衛生組合議会議員

議員 藤田 欣宏
(平成20年1月10日)
議員 片山 文昭
(平成21年12月21日)

議会選出監査委員

委員 阪松 明義
(平成20年1月10日)



全国棚田サミットin新潟

新潟県十日町市

平成21年10月16日



十日町市 星峠の棚田

10月16日東京より関越道で十日町市へ。松代総合体育館で第15回棚田サミットに参加。全国各地から多くの方が参加し、お国言葉で話しているのを聞き面白かった。

「未来へつなげ 美しい郷土を」のメッセージが大会のスローガンだった。十日町市は5年前の中越大地震と2年前の中越沖地震にみまわれた場所で又全国屈指の豪雪地帯である。

基調講演終了後に各班に別れて棚田の現地を訪れ、地元の方々の手厚い歓迎をつけた。案内人のユーモアある説明に一同心が暖まったように思う。十日町市の棚田は本町と違い「秋田かき代かき」をするそう、秋田かきは春の雪解け水をもらさず田んぼにためる雪国の知恵と努力である。

現地視察のあと、全体交流会があり本町からも18名の方が参加し、いろいろ話がはずんだ。本町も23年に棚田サミットが予定されているが、町民皆様方の御支援御協力をお願いします。(阪松)

町内産業視察

平成21年10月22日

J A 搾汁施設

水力発電所(高木様)

森林基幹道
生実八重地線

榎原地区
重要文化的景観区域

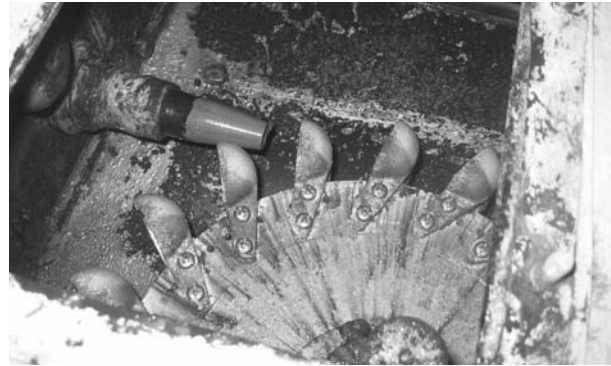
榎原地区鳥獣害防止柵

旭町営住宅建設予定地

平間町営住宅



J A 搾汁施設



ミニ水力発電所(タービン)



森林基幹道生実八重地線(生実工区)



榎原地区鳥獣害防止柵



平間町営住宅

委員会報告

山の中でキャビア作り

岡山県新見市

平成21年11月19日

チョウザメはサメではない。だから喰い付かない。だから喰い付かない。岡山県の新見漁協は平成12年からチョウザメの養殖を始めた、キャビアである！

元々は鮎の稚魚の養殖をしていたが、価格の下落で採算が合わなくなつたのだ。チョウザメは淡水魚で施設がそのまま使える。釜石やつくばの先進地を見て、やれると思つたそうだ。

もちろん始めるときには「変なことするな！」と反対ばかりだったそうだ。それでもやつたのだからこわりの人達が居たわけだ。

チョウザメは原始的な魚で、とてもタフで飼いやすらしい。水から出ても4、5時間は死なない。だから生きたままを

発泡スチロールに入れて配送する。しかも、さばいて2、3日冷蔵庫に入れたとしても刺身で食べられる。もちろん卵はキャビアだ。

ただし、卵が取れるのは7才魚から、しかも半分は雄で卵なし。

卵が取れだして3年目、年100匹売れると採算が取れる。まだそこまでになつてないが順調にきていると余裕だ。

景気は落ち込んでいるが需要は開拓していけると見込んでいる。ホテルが主な取引先だが、市内のラーメン屋がキャビアを乗せたらラーメンを売りだしたらいい。それでTVの取材班



チョウザメ

が養殖池にも来ていた。何の事業でも、ぜひこれをやりたいという情熱の人を現場に貼りつけないと成功しない。そういう人は手を抜かず、工夫をして困難を切り抜ける。次にヒラメとフグの養殖も手がけるとのこと。夢はふくらむ。

私達も夢をふくらませて美愁湖にチョウザメがワラワラと群れているところを想像した。フラックバスとどちらが強い？(渡部)

鳥取県南部町議会基本条例

鳥取県南部町

平成21年11月20日

南部町は旧西伯町と旧会見町が平成16年10月1日合併した。面積114km²で3,878世帯約1万2千名の町である。

合併前の議員定数は旧西伯町が16名、旧会見町が12名の28名であったが、在任特例はせず平成16年10月24日、南部町議会議員選挙(大選挙区制)で16名が選出されスタート。

20年10月の議会議員選挙で定数を16名から14名へと削減する。

議会基本条例は18年3月から議員の倫理条例制定を目的とし議員全員による政治倫理条例調査特別委員会を設置。その後、議会基本問題調査特別委員会と移行し1年9力月の議論を経て南部町議会基本条例が誕生。

栗山町(北海道)の議会基本条例を基に、不正に利益を得る行為等の政治倫理や理事者側から議員への質問や意見



を述べる反問権等を文章化したものだ。

今までに反問を行ったのは、町長が1回、総務課長が1回、病院事務局長が1回で、あまり反問権を行使するものではないと指導を受ける。

研修に対応していただいた石上議長、足立副議長、谷口事務局長とともに上勝町を視察されたとのこと。丁寧に説明を頂く。お礼を申し上げながら南部町を後にした。

(藤田)

写真で紹介 まちのようす



彩公園 桜の植付（南岡）



いっきゅう茶屋10周年祭



自主防災炊出し訓練（福原）



帆を揚げよ 射手座造船所！面舵いっぱい（傍示）



広報委員



どんど焼（自然の宿 旭）



（渡部）

人が減っている。我が町だけでない。日本全体だ。しかし、これは当然のことなのだ、今までが多すぎた。明治以来、生産力を高めるため、戦場に送るため、産めよ増やせよの政策だった。

現在も、産業が成り立たない、年金制度が維持できない、もっと産めと云う。けれども人は手段でも道具でもない。社会の都合で産め、産むな、と云うのはおかしい。

自分を含めてひとりひとりの生の在り方を改めて見直すときではなからうか。議論はそれからだ。

編集後記